

2024年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
物理療法理論											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	星野虎之助、後藤晃弘			実務 経験	有	職種	柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)				
授業概要											
部位別の具体的な外傷の成り立ちや施術方法について学びます。											
到達目標											
物理療法の理解や探求する力を身につけるために、各物理療法の用いた際の生体への反応の法則を理解する。寒冷療法、光線療法、牽引療法、間欠的圧迫法など各種物理療法の毛細血管や浸透圧、神経系、筋肉に対しての生理学的作用を理解する。各種物理療法の実施した際の効果並びに、どういう疾患に対して効果があるのか、また一般的な禁忌や各種物理療法だけの禁忌（特異的禁忌）について理解することを到達目標とする。											
授業方法											
この物理療法とは柔道整復師の行う後療法の中に含まれ、物理療法の生体への反応や効果を理解し、患者さんへ実践できる学問である。物理療法に関しての基礎知識から応用知識までを学び、基本的な患部への実践と応用的な実践といった技術を習得する。											
成績評価方法											
試験と課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教科書（柔道整復理論編一般社団法人全国柔道整復学校協会 監修一）に準拠する。											
回数	授業計画										
第1回	物理療法の分類（電気療法や温熱療法など）や周波数と波長を理解する。										
第2回	間欠的圧迫法にあたり全身的浮腫や局所的浮腫を理解する。										
第3回	間欠的圧迫法の生理学的作用を理解する。										

第4回	間欠的圧迫法の効果を理解し、使用方法や包帯を使ったやり方を習得する。
第5回	寒冷療法の原理、生理学的作用を理解する。
第6回	寒冷療法の適応と禁忌、効果を理解する。
第7回	寒冷療法の適応と禁忌、効果を理解する。
第8回	寒冷療法（アイスパック・クリッカー）を使用方法を習得する。
第9回	頸椎牽引、腰椎牽引の生理学的作用、使用方法を理解する。
第10回	光線療法の生理学的作用を理解する。
第11回	赤外線療法の生理学的作用、使用方法を理解する。
第12回	レーザー光線療法の生理学的作用、使用方法、光線療法の禁忌を理解する。
第13回	電気療法の皮膚の電気抵抗を理解し皮膚の電気抵抗を下げるための手段を習得する。
第14回	電気療法の種類（TENS・EMS）などを理解する。
第15回	振り返り